

令和7年度指定管理者モニタリング結果

1. 評価対象施設

公の施設の名称	羽生市三田ヶ谷農林公園	
所在地	羽生市大字三田ヶ谷1725番地	
指定管理者	団体名	株式会社アグリメディア
	所在地	東京都目黒区青葉台4丁目7-7 住友不動産青葉台ヒルズ9階
指定期間	開始日	令和5年4月1日
	終了日	令和10年3月31日
選定方法	公募	
評価実施年	指定期間5年間のうち3年目	
施設設置目的	地域経済の活性化と都市型農業の創造に寄与するため、新たな農業構造確立に挑戦する拠点施設として設置	
主な実施業務	1 キヤッセ羽生の運営に関する業務 2 キヤッセ羽生の施設等の使用の許可等に関する業務 3 使用料の徴収に関する業務 4 キヤッセ羽生の施設、設備及び物品の維持管理に関する業務 5 農業物産館、第2物産館及カフェの運営 6 イベント等の実施に関する業務	

2. 利用状況等

休館日	12月29日～1月1日
営業時間	キヤッセ羽生 午前9時から午後5時まで 直売所（むじなも市場） 午前10時から午後5時まで レストラン（キヤッセバーガー） 午前11時から午後2時30分まで バーベキュー広場 平日 午前11時から午後3時まで 土日祝 午前10時から午後4時まで

年間利用者数	利用状況			
		午前	午後	
	第1体験室	48件	42件	
	第2体験室	7件	6件	
	研修室	1件	1件	
	第1加工室	0件	0件	
	第2加工室	0件	0件	
	第3加工室	0件	0件	
		平日 11-14時	土日祝 10-13時	土日祝 13時半-16時半
	バーベキュー広場 (炉なし)	54件	54件	61件
	件数			
公園内広場	325件			
利用料金収入	利用料金収入状況			
		午前	午後	計
	第1体験室	21,600円	25,200円	46,800円
	第2体験室	3,150円	3,600円	6,750円
	研修室	550円	750円	1,300円
	第1加工室	0円	0円	0円
	第2加工室	0円	0円	0円
	第3加工室	0円	0円	0円
	合計	54,850円		
		平日 11-14時	土日祝 10-13時	土日祝 13時半-16時半
バーベキュー広場 (炉なし)	27,000円	27,000円	30,500円	
合計	84,500円			
公園内広場	515,000円			

<p>自主事業</p>	<p>自主事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ○農業物産館の運営 <ul style="list-style-type: none"> レジカウント数 57,666 件 地元農産物及び加工品の販売等 いがまんじゅうの製造販売（休止中） ○レストラン（キヤッセバーガー）営業 <ul style="list-style-type: none"> レジカウント数 8,036 件 ハンバーガーなどの提供 ○手ぶらバーベキューの実施 <ul style="list-style-type: none"> 利用者数 976 人 ○イベントの開催 <ul style="list-style-type: none"> 第2日曜日にフリーマーケット&さいたあマンショー 第4日曜日にキヤッセ羽生公園まつりを開催 わんにゃんフェスタ、バーガーフェス、ワンダーマーケット等の開催
-------------	--

指定管理業務 総合評価表

施設名	三田ヶ谷農林公園（キヤッセ羽生）
施設所管課	経済環境 部 農政 課（内線 285）
指定管理者名	株式会社アグリメディア
指定期間	令和 5 年 4 月 1 日 ～ 令和10 年 3 月 31 日（3 年目）

評価項目	評価基準	自己評価	所管評価	
1 実施体制に関する評価	施設管理	協定書等に従い、開館日や開館時間等を遵守しているか	A	A
	人員体制	仕様書等に従った人員(人数、有資格者)を配置しているか	A	B
		スタッフのシフトは適正であるか	A	A
		事業計画書に則した内容・頻度で教育・研修を実施したか	A	A
	利用料金	利用者からの料金徴収や現金管理等が適切に実施されているか	A	A
	外部委託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切か	A	A
		外部委託事業者に対して協定書等を遵守させているか	A	A
	記録管理	業務日誌等を適切に作成・保管しているか	A	A
		点検、修繕等の履歴を適切に整備・保管しているか	A	A
	報告書提出	協定書等で定められた事業計画書・報告書等は提出しているか	A	B
	連絡調整	市や関係団体等との連絡調整を適切に行っているか	A	A
	危機管理	危機管理に関するマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っているか	A	A
		避難経路は適切に確保されているか	A	A
		事故、災害等の緊急時の連絡体制が確立されているか	A	A
	個人情報保護	個人情報等の管理は適切か	A	A
		個人情報保護に関する規定が整備されているか	A	A
		情報漏えいを防止する仕組みや対応策が構じられているか	A	A
	情報公開	情報公開に関する規定が整備されているか	A	A
		協定書等に従い、情報を適切に管理、公表しているか	A	A
【1 総括】	実施体制の履行状況に関する評価（標準19項目・本施設19項目）	A	A	
指定管理者の自己評価	園地スタッフを1名増員し、園内の衛生状態を改善した。これにより、前年度未実施だった収穫体験の再開や、試験運用中だった養蜂事業の本格稼働に向けた体制を構築した。			
施設所管課の自己評価	人員増により、仕様書に沿った施設・設備の点検や清掃管理、修繕対応等は概ね適切に履行されている。SNS運用や環境配慮、接遇面でも重大な苦情はなく安定しているが、依然として事務所不在や電話が繋がりにくい事案が散見される。利用者への迅速な対応や緊急時体制の観点から、さらなる改善を要する。			
2 サービスの内容や水準に関する評価	利用者対応	施設の予約や利用等が、公平かつ適切に実施されているか	A	A
		言葉遣い、態度、服装等の接遇は適切であるか	A	A
	利用案内	ホームページは計画どおりに運用されているか	A	A
		利用方法をわかりやすく説明できる仕組みが構築されているか	A	A
	利用状況	施設の利用者数や稼働率は適正であるか	B	B
		利用促進に向け、積極的に取り組んでいるか	A	A
	事業の実施	事業計画書に則し、指定事業を実施しているか	A	A
		施設の目的に沿って、自主事業を実施しているか	A	A
		各事業の参加者数は、計画どおりであるか	A	B
		参加促進への取組みを積極的に実施しているか	A	A
	環境への配慮	省エネルギー、省資源等環境への配慮がなされているか	A	A
	苦情等の対応	苦情や要望等に対して迅速かつ適切に対応しているか	A	A
	利用者への調査	利用者満足度調査を実施し、その結果は妥当であるか	A	A
		利用者からの意見や要望等について、可能なものは反映させているか	A	A
維持管理	仕様書等に従い、清掃、警備、衛生の点検・管理を適切に行っているか	A	A	
	仕様書等に従い、施設、設備の点検・管理を適切に行っているか	A	A	
	備品台帳により記録が適切に保管されているか	B	B	
	市と指定管理者の備品が明確に区別されているか	B	B	
	必要な修繕を適切に行い、市に報告しているか	A	A	
【2 総括】	サービス等の内容や水準に関する評価（標準19項目・本施設19項目）	A	A	
指定管理者の自己評価	重大なクレームはなく安定した運営を行えたが、さらなる質の向上が不可欠である。月1回の朝礼で課題と方向性を共有し、スタッフの意識向上と組織の一体感醸成に努めている。			
施設所管課の自己評価	朝礼等で要望に対応し、教室の定期利用開拓や大型イベント成功、収穫体験の再開など利用促進に積極的に取り組んだ。しかし、依然として平日の利用が少なく、自主事業の実績も目標値を下回った。今後は平日の稼働率向上に向けた施策や効果的な広報活動を徹底し、全体の目標達成とリピーター確保に努められたい。			

評価項目		評価基準	自己評価	所管評価
3 収支等の評価	経理事務	指定管理に関する経費と団体の経費を区別して、適正に管理しているか 専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理処理を行っているか	A	A
	予算執行	収支計画書に則し、適正に予算を執行しているか	A	A
	経費節減	計画どおりの経費節減の取組み、またはその他の取組みを実施し、その効果があったか	A	A
	収支状況	事業収支は妥当であるか	B	B
	【3 総括】	収支等に関する評価(標準5項目・本施設5項目)	A	A
	指定管理者の自己評価	経費抑制により売上が伸び悩む時期もあったが、養蜂や収穫体験など新規施策の導入は、今後の収支改善に寄与するプラス要因である。今後はこれらを収益の柱として育てていく。		
	施設所管課の自己評価	物価高騰に対し経費を抑制しつつ、飲食事業で限定メニューを投入し、客単価の底上げに成功した経営ノウハウは評価できる。しかし、バーベキュー事業の苦戦もあり抜本的な赤字解消には至っていない。今後は新作バーガーの展開や直売所、養蜂事業等の収益化を進め、強固な収支基盤の確立を強く求める。		
【4 総合評価】	1～3の項目の総括による総合評価	A	A	
5 その他特記事項 (提案・成果・課題等)	指定管理者	昨今の人件費や物価の高騰など、施設運営を取り巻く環境は極めて不安定かつ厳しい状況にある。しかし、羽生市の農林公園としての本来の目的を堅持し、農業関連企業としての自社の強みを最大限に活かした運営を展開していく。今後は市内事業者との連携をさらに深化させ、地域の特色を活かした公園としての魅力向上と認知度拡大を図ることで、市民の期待に応える持続可能で安定した施設運営を推進する方針である。		
	施設所管課	人員増による園内環境の改善をはじめ、広場イベントの実績倍増や貸出施設の稼働率向上、飲食事業の単価向上など、施設活性化に向けた指定管理者の積極的な取り組みと成果が見られた年度であった。一方で、事務所不在に伴う連絡体制の不備や、記録的猛暑等の外部要因によるバーベキュー事業の減収など、管理運営と収支の両面において依然として改善すべき課題も残る。今後は指摘事項である確実な人員・連絡体制の構築を前提としつつ、再開した収穫体験や養蜂等の新規事業の収益化、地元農家等との連携深化により、持続可能で安定した施設運営を推進されたい。		

※評価区分※

①評価基準	S (優良) = 協定書、仕様書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた内容である A (良好) = 協定書、仕様書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った内容である B (課題含) = 協定書、仕様書等を遵守しているが、内容の一部に課題がある C (要改善) = 協定書、仕様書等を遵守しているが、改善の必要な内容である
②【総括】	S (優良) = 評価基準がすべてA以上であり、かつSが過半数以上である A (良好) = 評価基準がすべてB以上であり、かつA以上が8割以上である(上記以外) B (課題含) = 評価基準がすべてB以上である(上記以外) C (要改善) = 評価基準にCが含まれている
③総合評価	S (優良) = 【総括】がすべてA以上であり、かつSが2つ以上である A (良好) = 【総括】がすべてA以上である(上記以外) B (課題含) = 【総括】がすべてB以上である(上記以外) C (要改善) = 【総括】にCが含まれている